

研究実施のお知らせ

2019年5月24日 ver.1.0

2021年2月08日 ver.2.0

2023年4月17日 ver.3.0

研究課題名

島根県における重症外傷患者集約システムの効果の検討

研究の対象となる方

2016年4月から2021年3月の間に島根大学医学部附属病院に救急搬送された全外傷患者のうち入院治療を受けられた方

研究の目的・意義

高度外傷センターは、重症外傷診療に対する十分な体制を整えて(ハイブリッドER、ドクターカーと防災ヘリを用いた24時間体制での病院間搬送システム、出雲圏域および大田圏域についてはドクターカー覚知時要請)、島根県全域から外傷患者の搬送を受け入れているが、重症外傷診療における地位格差が是正されたかどうかは定かでない。そこで、現在の重症外傷患者集約システムの効果を二次医療圏別に調査し、当院の病院前外傷診療の問題点を改善することで、島根県全域の重症外傷患者のさらなる救命率向上を目指す。

研究の方法

研究対象者のカルテから次のデータを収集する。

- 1) 病院前情報(年齢、性別、受傷機転、受傷場所、搬送手段、搬送時間、バイタルサイン)
- 2) 病院前診療での処置内容(気管挿管、ルート確保、FAST、蘇生的開胸術、輸血投与)
- 3) 来院時のバイタルサイン(呼吸数、SpO₂、血圧、脈拍、意識レベル、体温)
- 4) 来院次の画像診断(FAST、CT、MRI、血管造影、レントゲン検査)
- 5) インターベンション(手術、IVR)
- 6) 患者転機、神経学的予後

収集したデータは、島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座内の外部から容易にアクセスできないPCに保管する。PCにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可

能な研究者を制限する。

研究の期間

2019年9月6日～2025年3月31日

研究組織

この研究は島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座が行います。／この研究は次の機関が参加して行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座/附属病院 高度外傷センター 比良英司

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2022年3月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座／附属病院高度外傷センター 比良英司

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2757 FAX 0853-20-2753